

**【事務事業調査】**

事務事業名	生活習慣病予防事業費			予算科目コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
					001-040102 - 003 - 07 - 02
担当部署	健康福祉課	担当	健康づくり	事業の分類	既存事業
		サブリーダー	田中圭子		

**事務事業の概要**

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	生活習慣病を予防するための生活習慣の改善を促し、正しい生活習慣を実行するよう、健康教室(血液さらさら教室、すっきりリズム教室)や健康相談(病態栄養相談)を実施する。特定健診により、階層化された結果(情報提供、動機付け支援、積極的支援)に応じて生活習慣改善のための支援を行う。特に、「動機付け支援」「積極的支援」者には改善に向けたアセスメントのための個別相談、改善プログラムに応じた支援を実施していく。また、「情報提供」者でも、結果により今後状態悪化につながるような対象者については、栄養、運動のグループ指導を実施し、各教室への参加を促していく。また、教室の参加者に男性が少ない現状を踏まえ男性が参加しやすいプログラム作りをしていく(運動実践コースの開催)。幼児、児童からの正しい生活習慣の獲得のため、園、学校での健康教育や地域や団体への出前講座を開催する。幼児期からの歯の健康のためフッ素塗布を実施する。疾病の早期発見として健康増進法に基づく健康診査を実施する。医療機関と連携するため、医師会、歯科医師会へ交付金を出す。	栄養バランスのとれた食生活や、定期的な運動の生活習慣改善の知識を普及することにより、生活習慣改善につながる。「動機付け支援」「積極的支援」は、自ら改善プログラムを作成し実践することにより、生涯にわたっての健康づくりを継続することができる。今後状態が悪化する可能性がある人へ、現在の状態を知ってもらい今後の改善に向けて働きかけることにより重症化を防ぐことができる。また、生活改善に消極的な男性に働きかけることにより、中高年での生活習慣病予防となる。幼少期からの刷り込みによって生活習慣として身につく、正しい生活習慣を持った成人となる。また、保護者への啓発となる。早期に疾病を発見し早期に治療することにより重症化を防止し医療費の圧迫を防ぐ。医療機関からの情報提供等を受けられ、生活習慣病予防に役立つ
実績		

**活動指標**

指標	目標値	達成値	特記事項
生活習慣病予防教室への参加延べ人数	3,500人		

**事業費(計画)**

番号	細 節	金 額	積 算 根 拠
1	賃金	2,332,608	保健師8,710×200日 栄養士@5,493×28日×2名 歯科衛生士@5,660×20回 フッ素塗布時看護師、歯科衛生士 169,800
2	報償金	152,500	運動指導士 @7,000×10回 健康づくり推進委員@5,500×15名
3	消耗品	800,000	調理実習用材料@8,000×12回 教室用テキスト@150×500冊 指導用パンフレット@1,400×50冊 資料作成用紙@1,300×25箱 @2,600×25箱 参考図書46,600 フッ素材料228,000 事務用品等186,900
4	印刷製本費	132,000	健診受診票 封筒等
5	通信運搬費	945,000	申し込み受取人払い、健診受診票通知、結果票通知、催促要ハガキ等
6	委託料	22,578,000	一般健診2,000人 胃がん検診2,000人 肺がん検診2,500人 大腸がん検診2,000人 子宮がん検診1,200人 乳がん検診2,200人 骨2,300人他
7	交付金	144,000	栃木県医師会、歯科医師会
8			
9			
10			
		27,084,108	

**事業費(実績)**

番号	細 節	金 額	特 記 事 項
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
		0	

**事業経費**

		計 画	実 績	特 記 事 項
予 算	当初予算額	27,084,108		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金	700,000		健康増進事業補助金
	地方債			
	受益者負担金	36,000		血液サラサラ教室 @300×15人×8
	その他の特定財源			
	計	736,000		
	差引(一般財源)	26,348,108		